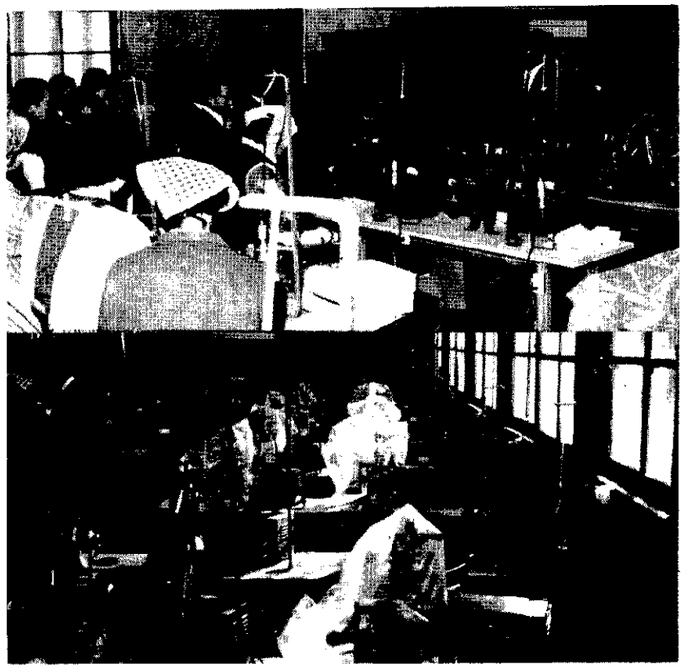
第199号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価　1部　5円

なかさと

2月1日現在

人口	7,440 (－6)
男	3,669 (－7)
女	3,771 (＋1)
世帯数	1,693 (－2)

カッコ内は前月との比較



中里村に工場誘致

干溝地内で電子工業を

去る二月五日中里村干溝地内の村立保育所で、中里電子工業の開業式が行われました。

これは、藤田村長及び中里農協上原組合長が中心となって、昨年末公害のない工場誘致の計画を進めて来て、この程川崎市にある帝国通信工業株式会社（川崎市の本社を根拠地として、通称帝通工）の「中里電子工場基地」誘致の話合いがついて、五日から本格的に操業を開始しました。

この帝国通信工業株式会社は、長野県での実験と同様、川崎市の本社と直結とのことであります。工場での生産品種は、弱電気のステレオ、カラーテレビ、ラジオなどの中枢部に使われるコンデンサーを生産することになっています。

当日は、社長さんの十名以上の希望者があれば出張所を作ってもよいとの話や地元の協力を得て大いに発展させたいとの挨拶に始まり、中里電子工業の開業式に至るまでの経過報告、産業課実施の工場誘致アンケートの紹介、長野県の工場視察、七人の従業員で出発のこと、将来五十人位で営業したい計画等を内容とした営業方針の説明があり、村長さんに代り収入役さんの歓迎の御挨拶に続き山柴水明の恵まれた環境に電子工業が進出したことを祝うと同時に、地元民協力して発展させたいとの組合長さんの祝辞があって開業式は滞りなく終りましたが、工場誘致第一号として大きな期待がかけられています。

●東京貝野会に出席して

中里村長　藤田五郎

東京貝野会が、一月十八日の日曜日午後一時から東京五反田の秋田料理店喜作会館で盛大なこやかに開催され、私もこの会に招待されて出席致しました私が貝野の出身でありますので多くの知人、友人と楽しい半日を送りました。貝野会の会員数は二百三十人で中里村役場の電話番号と同じ数でした。出席者約五十名。一時から二時頃まで役員の打ち合わせが行なわれ、二時開会、幹事長の柳俊太さんの司会で始まり、会長の中島敏雄さんから挨拶と今後の会の運営方法につき会員からの意見調整が行なわれました。次いで私から挨拶に加えて村政の現状に関し概略をお話し申し上げ、やがて閑宴されるや御兄弟三人、御姉妹二人組という豪華版の出席もありました。私もお酌をして廻り乍ら「貴方はどこの部落の何という屋号の家の方ですか」等と聞き乍らの対談も楽しいものでした。若い方は、お父さんに似ている方もあり、お母さんに似ている方もあり、おとうよりや御兄弟に似ている方次々思い出されましたし、私から歯の治療を受けた方々の多いのに驚きましたが、未だに感謝されていましたのも男冥利でした戦地で一緒になった事のある相談役の南雲定一郎さんとの戦地での思い出話もつきませんでしたし、顧問の南雲音作さんや吉沢正輔さんも旧知の親しい人ですので時間の過ぎるのが惜しい気持で懐旧談にふけりました。

中里村奨学金

希望申し込みは3月15日まで

中里村育英事業委員会では、昭和四十八年四月からの村育英資金貸与希望申し込みを受け付けております

(1)申し込み資格
高等学校を卒業したもの、又はこれと同等以上の資格を有する者で、大学入学を希望している人、又は現在大学在学中の人。

(2)貸与予定人数　五人以内

(3)申し込み方法
貸与希望者は、次の書類を添えて、三月十五日までに、村育英事業委員会あてお申し込み下さい。

(イ)資金貸付願　(二通)
(ロ)身分証明証　(一通)
(ハ)健康診断書　(一通)

なお、くわしいことは、教育委員会事務局におたずねください。

人物むかしむかし
はら切り兵左エ門のこと

松崎真道

樋口兵左エ門は寛文十年に、当村桂部落の百姓総代であった甚三郎を父として生まれた。

今から三百十三年前の事である。当時、桂は村中有数の米どころ。兵左エ門は十二石八斗三升三合の本百姓で、間口四間奥行五間の母屋と、二間三間の馬屋同じ大きさの土蔵に、馬三頭。家族十三人でくらしていた。

兵左エ門の生きた時代は徳川の文化が最初に花開いた元禄、これに続いて幕政がひき緊められた正徳享保の世であった。武士階級を支えるための百姓への年貢割当は苛酷を極めた。五公五民、六公四民といわれた平年作の五割以上の年貢は、仮りに兵左エ門にたとえると、年貢の残りは十三俵を下り、これで家族十三人と、彼の配下数軒の水呑百姓の生計を支えねばならないことになる。

その上幕府は貨国で米俵輸送が困難であるとの理由で米を銭に替え金納制をとった。何しろ物の売り買いの少い、銭をとる仕事のない封建社会のこと、百姓達は年貢銭には殊の外困った年貢銭の足らない百姓は、漸く台頭して来た商人、金貸に田を質草として銭を借り、返済に窮した場合田を売り、所謂「コシコク」の小作料を納めねばならぬと言う二重三重の苦しみを受けた。

水沢村丸山孫右エ門は生活に困った百姓に金を貸し「コシコク」を近隣に広げて行き、桂にも多くの「コシコク」が出来はじめて来た。

兵左エ門はこの有様に意を決し、丸山孫右エ門を殺して、桂への進出を食い止め百姓の難儀を救おうと、元文元年旧の三月六日の夜、孫右エ門の寝室へ忍び込み、かくし持った刀で蒲団の上からグサリと一突きにした取って返した兵左エ門は正しい事はしたけれど、人を殺した罪は紋されぬと、途中の田の中で腹掻き切って相果ててしまった。

しかし孫右エ門はかねてから兵左エ門の計画をさとり、危く難室に難を避けて一命を取り止めていた。後、兵左エ門の自害を聞き、その心意気に感じて、桂へ「コシコク」を返し、以後の進出を思いとどまることを約束した。その外、兵左エ門の霊を慰めるために、桂へ二つの石橋と、鎮守様の階段を寄附し、田中部落境の道の端に「石橋供養塔」と刻んだ石塔を建てた。

時に兵左エ門六十六才、生前彼が師と尊んだ東光寺九代大道和尚の手で葬られ、法名は路応本然信士である。

ささやき如仏

△物価急騰と田中宰相の印綬。庶民宰相と言われる田中さんが吾々の生活をおびやかすようなインフレ政策をとる筈がない。にもかかわらず随分と遠慮のない激騰ぶり、首をいささか傾けたくなるのは自分一人ではあるまい。将に物価騰貴の機の熟した所へポッカリと空いた首相の座、その尽座ったと言えばそれまでの話しかし運が善いと言えば運がよく、運が悪いと言えば運が悪いとも言える。見解の相違はあるがこんな事ならいっそ福田さんから首相になっても らい、四苦八苦、七転八倒の末の椅子。その跡へ決断と実行の旗印を高く掲げて着座したなら、形もよく無理もない派閥争いの酷い姿もなく将に庶民宰相として世直し大明神と崇められたかも知れぬ。愛する郷土の偉人のために比か同情に価するものを感じないでもないが八方塞りの地価物価資金防衛福祉公害、折角自重自愛されて庶民のための政治で開運のきざしを摑まれることを希うものである。

△物価資金地価のせりあい。誰がこれにピリオドを打つのか。一「俺だけ上げて他を上げるな」「給料は上げないでよいが物価を据え置けと何故訴べぬか3.新憲法制定。平和憲法とはいうが元をただせば保守革新共に反対だった等。家族制度の破壊と核家族の新生。何もかも数倍の必要。それに消費者の無自覚と虚栄が輪をかける

△公共企業体の斗争で愉快なのは、国鉄の労組で掲げている「国鉄運賃値上げ絶対反対」である。もう一つならべて「賃金アップ絶対反対」と書きならべたなら、日本はおろか世界中にその勇名を轟かすことが出来るだろう。国鉄運賃を凍結することは大賛成。

二つのスローガンを併列させたら日本一のよい男達ということになるだろう。

△更に愉快というより感銘を深くしたこと二つ。千葉県銚ケ谷市の土地価格坪十万円以下の売買価格に強力な行政指導栃木県矢板市に対して鐘紡が以前工場建設のために買入れた土地が建設中止となったため、原価で返却した由、全く範とすべきことで流石と日本の鐘紡だと感服した。爪の垢を飲ませたい企業が多く、勇断を以て行政指導を行う態度が望ましい。

納税相談会は
3月5日・6日

毎年、所得税の確定申告について十日町税務署では、町村に出向いて納税相談会を開催していますが、今年は次のような日程で開催されますので、所得税贈与税の申告をしなければならない方は、お忘れなくお出かけください。

①期日　3月5日（6日の一日間、午前9時より午後5時まで。

②会場　中里村役場議場（庁舎）

中里文芸
二月投稿

人生往来

おのえ

うつうつと吾が半生は陽の氷柱
雪に白縛の眠り浅くて身が細る

大泉

鶯声落ち雪の梢を高くせり
子はみな翔ち雪が消してしまった跡

深雪

冬雲の真下果てなき寒情かな

◎俳声

氏名	部落	父の名
服部　美佳	正豊	如来寺
南雲　博光	篠太郎	堀之内
保坂留美子	新造宮	中
服部　敏子	勝利	小原
高橋　哲也	攻二	田中
古高　徳之	徳一郎	桔梗原
江口　隆之	興一	千溝
鎗野　博子	寅治	東田尻

◎昇天

氏名	年令	部落
阿部　喜伴	(82)	新屋敷
樋口　道	(76)	千溝
樋口ミツイ	(66)	千溝
岡村　サク	(81)	倉俣
太嶋シャオ	(78)	芋沢
藤ノ木佐平	(75)	小出
鈴木　熊治	(72)	下山

面影を降りつぐ雪の芯におき

土牛

Sしの除雪車がある景色
愛憎の総据淋しき冬の色

由記

終りなき冬の旅読みねむれぬ夜
立春の窓明け赤いシクラメン

未知

針供養まだ冬寒の川に沈む
年女雪に覆われ酌み交す

涼子

樹氷咲く森に少女とどこめて
冬日の鷺仰臥の少女踏みわたる

星野　正利
高橋　昌人

弘吉田沢
定利倉俣

(三面よりつづく)

ような、また何んだか、背筋が寒くなるような、何とも言えない変な気持にかられる時があります。

子ども達は、それぞれにテレビやら人々の話やらの中から良いことも、悪いことも、みないつの間にか、吸収して、私達おとなが「あっ」と思うような事を平気で言ってのける現代っ子になり、お父さんも、お母さんも、なお一層しっかり、やらなくちゃあと、つくづく思わせられます。お父さん方も、遠い所に行き、人様に使われる身であれば、つらいことも度々あることと思われます。家でも母ちゃんはじめ、子ども達が今日も一日父ちゃんは無事、つとめて下さったかしらと、毎夜案じております。

どうか、帰える日まで、お元気で頑張って下さい。そして春には、晴やかな、笑顔でお帰えり下さい。留守を守る私どもは皆もう十年も二十年も逢っていないような、わびしい気持で皆さまのお帰えりを、おまちしております。

所得税の申告と納税は 3月15日までに

所得税の申告と納税は、二月十六日から三月十五日までです。申告書を書くときは、あらかじめ税務署から配付された「所得税の確定申告の手引き」「申告書の書き方」などを参考として間違いのないよう記載してください。おわかりにくいときは、税務署に相談してください。

確定申告によって算出された所得税は、申告期限と同じ三月十五日までに納めなければならないことになっています。

延納を希望されるときは、第三期分税額の半分以上を期限（三月十五日）までに納めた残りは五月二十一日までに納付すればよいことになっています。

この手続きは、確定申告書の延納税額などを記入する欄に記入すればよいことになっています。

◇ 申告はお早めに

申告期限間近になりますと、税務署の窓口が大変混雑しますそのため長時間お待たせし、ご迷惑をおかけするおそれもありますので、申告はなるべく早目にすませるようお願いします。

◇ 納税相談にご協力を

確定申告は、ご承知のとおり自分で所得を計算して、納税をしていただくことになっておりますが、もしおわかりにならないことがあって、納税相談会場へおいでの際は、あらかじめ確定申告書にご自分で記載できる箇所①住所、氏名、②扶養控除欄、③配偶者控除欄、④生命保険料控除欄等を記載してください。また、雑損控除、医療費控除、生命保険料控除、損害保険料控除などを受けられる方は、証明書類をご持参ください。給与、配当などの所得がある人は必ず源泉徴収票をご持参ください。

◇ 税金の還付を受けるための確定申告はお早めに

税金の還付を受けるための申告は、お早めにすませてください。

源泉徴収された税金や、予定納税をした税金が納め過ぎになっている人は、還付を受けるたしますので、二月十五日までにお忘れなく申告書を提出してください。

なお今年より法律の改正により、県税個人事業税の申告については、住民税の申告書に記載欄が設けられましたので、該当される方は個人事業税の申告もお忘れなく記入してください。

お願い 村・県民税の申告書 提出期限は3月15日

毎年三月十五日は住民税の申告期限になっております。

前年中に所得のあった人からそれぞれ計算して申告していただき、昭和四十八年度の村民税県民税の税額を算定する重要な資料となるものです。

所得の計算にあたっては、所得から差引かれる金額がありますので、あらかじめ証明書類などを用意し、申告書に添付できるようにしてください。たとえば、医療費（支払金額が所得金額の五%を超える場合）、生命保険料などがあります。また、ご主人が出稼ぎなどで不在のご家庭では、家にいる人が申告書に記入できるよう、いまから準備しておいてください。

役場税務課では、申告書及び記入説明書を三月上旬に区長さんを通じて各ご家庭にお届けいたしますので、申告書作成の際は、ご利用ください。

新春娯楽大会二題

麻雀之部
①位 樋口秀一
②位 樋口 聡
③位 斉喜泰男
百人一首之部
①位 村山勝次
②位 大島カヲ
③位 吉楽ミヨ

二倉俣分館・倉俣寿会共催
1、一月四日 午前九時から
2、中里村生活改善センターで
3、参加者凡そ四十名
4、成績は次の通り
囲碁之部
A級①位 円正武夫
②位 松崎真道
③位 高橋源平
B級①位 志田義三郎
②位 高橋 叡
③位 山崎 了
将棋之部
①位 山田市蔵
②位 根津正治
③位 岡村曼治
麻雀之部
①位 高橋信雄
②位 斉喜泰男
③位 鈴木恒夫

新春を迎えて賑々しく娯楽大会が行なわれた。晋国には珍しい暖い日和、早春の陽は中天にうらら、斗う意気は室に満ち、親しさ懐しさはいやが上にもこまやかになり、有意義の中に左の通りの結果で幕をおろした。

一中里村公民館主催の大会
1、一月二十一日九時から
2、公民館と田沢分館で
3、参加者凡そ五十名
4、成績は次の通り
囲碁之部
A級①位 根津幸造
②位 吉楽友吉
③位 岡村英一
B級①位 岡村泰山
②位 志田義三郎
③位 吉楽高義
将棋之部
①位 山本敏男
②位 山本 昭
③位 山田 博

上原電器さんテレビを寄附

このほど、上山の上原電器さんが、中魚沼社会福祉事務所を通じ、テレビのない世帯にやってほしいとテレビ一台を寄附してくださいました。中魚沼社会福祉事務所では、早速、貝野宮中地区のテレビのない世帯に取りつけ、大変よろこばれております。

ダメになったか 日本人

「最近の青年は、流動食でないと食えなくなってしまった」久しぶりに会ったK氏は、若笑まじりにこんな感想をもらした。彼は国立青年の家で何年間も青年を指導しているその分野でのベテランである。講義も漫談や落語のように面白くないとすぐに退屈するだけでなく、きこうともしないというのである。自ら選ぶこともなく、歯でかむこともなく、直接胃袋に流しこむようにしないと、殆ど何も理解できないという。

流動食でないと受付けないのは現代文化全体の傾向でもあるおもしろおかしく、なるべく安易に自らの手や顔を労することなく「結果」だけを享受するような傾向は、殆ど防ぐことのできない勢いで社会を浸蝕している。

テレビの影響をいう人がいるたしかに、人生の一大事まで、おもしろおかしいショーに仕立て視聴者の興味に訴えようと狂奔するテレビのあり方は、たしかに問題だが、文化の流動食化の背影は広く、深く、決してテレビを責めて足りるようなものではない。

ここ二、三年の間に信じられないほど、急速に日本人はダメになってしまった。という実感を私は禁ずることができないがそれが若いものよりもむしろ、年輩者において甚だしいと思うにはいささかの理由がある。

先頃、私はある著明な作家に長文の手紙を書いた。私はその作家に面識がなかったが「ある内容について、若し必要なら資料を提供したい」という内容の手紙であった。結局、この手紙はナシのつぶてに終ってしまった。私はこの手紙の返事がこないことより、この高名な作家の傲慢な反面を見せられたおもいで鼻白んだものである。

政治家などに出した手紙がナシのつぶてであることはよくあることで、少しも驚かないが文章で生活をする程の人が、人の手紙に何の返事もしないという無神経さ傲慢さは甚だ不快なものであったが、よく考えて見るとこの頃、こういう例がわりあいに多くなったように思う。世の中が忙しくなって悠長に手紙など書いている暇がなくなったというよりも、人の心が病んで他人の心を思いやる余裕がなくなったということだろう。人から「お早う」と挨拶されて返事もしない人間は普通の神経ではないが、手紙をもらって、返事をかかないのも同じことだろうそういう人がふえてきたということは、それだけ日本人がダメになってきた証拠ではないか。流動食文化の時代に、まっさきに脅かされる固型食的労作なのであろう。（月刊公民館より引用）

田沢小を会場に 健青会 豆まき 子ども会共催で

去る二月三日、田沢小学校体育館において、豆まきの行事がおこなわれました。これは日本健青会中里支部（支部長、藤田真実氏）と部落子ども会の共催でおこなわれたものですが、今年は昨年よりも趣向をこらして男子は相撲大会、女子はリンボー大会、全員で映画見学、最後に鬼の面を、かむった服部会長さん、収入役さんなどの二福はうち、鬼は外」のかけ声で、ピーナツ、ミカン、キャラメルなどたくさんまかれ、四百人余りの幼児、児童は大喜こび。主催者側でも、年々趣向をこらし、かつ盛大になってゆくことは、大へんうれしい、また来年も、ということで閉会致しました。

老人医療についてのお願い 上村病院

一月一日から七十才以上の老人に対する医療費が無料になりましたが、その手続きが複雑のためか殆どの老人患者が不備の書類を持参するので病院の窓口で聞いたり説明したりの手数が多く混雑が増し、特に耳の遠い人達等理解しにくいことがあって、病院に来たため却って具合の悪くなる人が出てくる結果になりかねない状態です。一人の老人患者のために受付に時間がかかり、多くの患者に迷惑のかかることがありますので、世帯主の方は老人手帳の内容をよく読んで自分にも他人にも苦痛や迷惑をかけぬよう、折角の無料診療制度を円滑に有効に利用して下さい。家庭の協力によって老人にも他人にも面倒をかけないで医者にかかれるようにいたしましょう。

病院では定められた書類さえ整っていれば窓口でスムーズに処理され、快適な診療が行われます。そのため次の事項を守って実行されるようお願いします

記

一、初めて診療を受ける時は国民健康保険又は社会保険の被保険者証及び老人手帳と老人医療費請求書（記入すべき箇所は必ず記入して）を窓口に提出して下さい。

二、次回からは病院で発行した診察券を必ず持参して下さい。

三、老人医療費請求書は毎月一枚づつ（入院した場合は二枚）必要ですので引続いて診療を受ける患者は月が替る毎に一枚づつ提出して下さい。

出稼者のみなさまへ 清田山婦人会

出稼ぎの皆様、毎日ご苦労さまです。私達留守家族の者に皆元気におりますので、ご安心下さい。今年も雪は少なく、今の所六十センチメートルしかありません。わずか五年とも言えぬうちに時代が転々と変りゆくように大空もこれ程に変ったのでしょうか。

まあ雪の少ないのは、私共にとって、何よりの幸せか知れませんが、真冬だと言うのに、どんな不便な山間地にでも、スイスイと車が入るなんて、つい二・三年前までは、夢にも想像出来ない事でしたのに……

本当に、この調子で十年、二十年先は、どんな変り方をするのでしょう。何か未来が楽しみのような、また恐ろしいような気もします。

（四面へつづく）